



町田市下水道 アクションプラン 進捗状況

2017年度（平成29年度）
～2021年度（平成33年度）

【2018年度進捗状況】

2019年10月

町田市

施策 I - 1 住環境の改善

目標

污水管と合併処理浄化槽※による整備を進め、快適な住環境に寄与します。

30年後の姿

生活排水が全て適正に処理されている。

小施策①

污水管と合併処理浄化槽を併用した污水处理の推進

5ヶ年の目標：水洗化率

(2016年度末) (2021年度末)
97.5% → 97.9%

進捗状況				
2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
98.5%	98.8%			

2018年度の主な取り組み

- 市街化区域の公共下水道未整備地区及び市街化調整区域の公共下水道整備地区において、污水管を合計 1,293m 整備しました。
- 町田地区の污水管未接続家屋を中心に、訪問等による普及活動を行いました。
- 今後も引き続き、污水管の整備や普及活動を行います。

小施策②

下水道の適正利用の促進

5ヶ年の目標：管清掃費（緊急）

13.0%削減

進捗状況				
2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
10.2%削減	18.3%削減			

2018年度の主な取り組み

- 油脂による污水管の詰まり箇所付近の飲食店に対し訪問・指導を行い、油脂要点検箇所における下水道適正利用率が 56.4%に上昇しました。
- 事業場への立ち入り検査や排水検査を実施し、排水規制の基準に沿って指導を行いました。
- 今後も引き続き、飲食店や事業場への訪問・指導を行います。

施策 I-2 河川の水質向上への貢献

目標 汚水の適正処理を進め、広域的な水環境の保全に貢献します。

30年後の姿 安心して水辺で水遊びができるようなきれいな河川になっている。

小施策①

下水処理水の水質向上

5ヶ年の目標：高度処理化率

(2016年度末) 9.8% → (2021年度末) 20.6%

進捗状況				
2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
9.8%	25.9%			

2018年度の主な取り組み

- 成瀬クリーンセンターにおいて、段階的・高度処理の運転条件を確立し、2池に適用しました。
- 鶴見川クリーンセンターにおいて、高度処理施設2池の増設が完了しました。

小施策②

水路等の維持管理の推進

5ヶ年の目標：調査済率

(2016年度末) 17.8% → (2021年度末) 100.0%

進捗状況				
2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
28.9%	46.7%			

2018年度の主な取り組み

- 水路35kmについて管理図書の作成を行いました。
- 予定していた41kmには届かなかったものの、今後も引き続き水路の現況や境界等の基本的な情報を調査し、管理図書の作成を進めます。

小施策③

市民等利用者への働きかけ

5ヶ年の目標：浄化槽維持管理費補助制度の対象者に対する三大義務実施率

100.0%

進捗状況				
2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
37.5%	43.3%			

2018年度の主な取り組み

- 浄化槽の適切な維持管理指導のため、清掃や法定検査未実施世帯を中心に訪問や郵送による啓発活動を行いました。
- 浄化槽維持管理費補助金制度について、提出書類の簡略化や申請期間の延長など、申請方法の見直しを行いました。
- 今後も引き続き、適切な維持管理の啓発・指導を行います。

施策 I - 3 地球温暖化対策と資源の循環利用

目標

環境負荷の少ない処理場運営を進め、地球環境の保全と循環型社会*へ貢献します。

30年後の姿

資源の有効利用が図られ、より環境に配慮した処理場の運転ができています。

小施策①

温室効果ガスの削減

5ヶ年の目標：温室効果ガス削減率 13.0%

進捗状況				
2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
34.3%	26.2%			

2018年度の主な取り組み

- 下水処理場において省エネを推進し、高温焼却による一酸化二窒素（N₂O）削減量を含め、基準排出量からの削減率 26.2%を達成しました。
- 今後も引き続き、省エネ活動に取り組みます。

小施策②

エネルギー・資源の有効利用

5ヶ年の目標：再資源化率 (2016年度末) 89.2% → (2021年度末) 98.5%

進捗状況				
2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
98.7%	98.8%			

2018年度の主な取り組み

- 計画どおり、ばいじん、沈砂汚泥、その他の産業廃棄物の処理を行い、下水処理場全体で再資源化率 98.8%を達成しました。
- 今後も引き続き、再資源化に努めます。

施策Ⅱ-1 浸水対策の推進

目標

総合的な取り組みにより、浸水被害の軽減を図ります。

30年後の姿

50mm/hの激しい雨が降っても浸水被害が発生しなくなっている。

小施策①

ハード対策の促進

5ヶ年の目標：雨水管の面積整備率

(2016年度末) 37.2% → (2021年度末) 38.2%

進捗状況				
2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
37.3%	37.3%			

2018年度の主な取り組み

- 他企業埋設管の移設工事に時間を要し、2件の雨水管整備工事が繰越となりました。
- 今後も引き続き、浸水履歴に基づき雨水管の整備を進めます。

小施策②

ソフト対策の促進

5ヶ年の目標：人命を守る

犠牲者ゼロ

進捗状況				
2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
犠牲者ゼロ	犠牲者ゼロ			

2018年度の主な取り組み

- 流域自治体と連携し、河川管理者への早期河川整備の要望を行いました。
- 「水害時対応マニュアル」に基づく訓練を8月に実施しました。
- 台風や豪雨前にパトロールを行い、道路側溝等のゴミや落ち葉を除去し、浸水被害の低減を図りました。
- 今後も引き続き、治水安全度の向上を図ります。

施策Ⅱ-2 地震対策の推進

目標

施設の耐震化と危機管理体制の強化を進め、地震による被害の最小化を図ります。

30年後の姿

地震が発生した場合でも速やかに下水道が使用できるようになっている。

小施策①

防災対策の推進

5ヶ年の目標：①下水処理施設の耐震化率
②重要な幹線等の耐震化率

(2016年度末) (2021年度末)
① 56.7% → 60.1%

(2016年度末) (2021年度末)
② 28.0% → 76.3%

進捗状況				
2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
①59.9%	①59.9%			
②32.6%	②94.4%			

2018年度の主な取り組み

- 成瀬クリーンセンターの水処理施設、次亜塩素タンク棟、塩素混和池について、耐震診断が完了しました。
- 重要な汚水幹線等について、耐震診断方法の見直し及び耐震化工事を実施しました。
- 今後も引き続き、下水処理施設及び重要な幹線等の耐震化を進めます。

小施策②

減災対策の推進

5ヶ年の目標：マンホールトイレ整備済み避難施設数

(2016年度末) 16/71 施設
(2021年度末) → 48/71 施設

進捗状況				
2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
22/71施設	28/71施設			

2018年度の主な取り組み

- 計画どおり、6つの避難施設にマンホールトイレを整備しました。
- 今後も引き続き、整備を行います。

施策Ⅲ-1 効率的・効果的な維持管理の推進

目標

予防保全型の維持管理を進め、安定的な機能確保を図ります。

30年後の姿

効率化を図りながら、安定的に下水道が使用できるようになっている。

小施策①

予防保全型の維持管理の推進

5ヶ年の目標：①下水処理施設の詳細調査件数
②下水道管の点検・調査延長

① 54件

② 210km

進捗状況				
2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
①11件 ②42km	①23件 ②83km			

2018年度の主な取り組み

- 計画どおり、下水処理施設の設備のうち状態監視保全の対象となる機器 12 件の詳細調査を実施しました。
- 下水道管について、41km の点検・調査を実施し、状態把握を行いました。
- 今後も引き続き点検・調査を行い、予防保全型の維持管理を推進します。

小施策②

計画的な改築更新の推進

5ヶ年の目標：健全な設備の割合
(健全度 3 以上)

(2016年度末)

(2021年度末)

79.0%

→ 89.0%

進捗状況				
2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
80.3%	82.3%			

2018年度の主な取り組み

- 計画どおり、60 件の設備について更新工事及び修繕を行いました。
- 引き続き修繕・改築更新を実施し、健全度 3 以上の設備を増やします。

施策Ⅲ-2 持続可能な下水道財政の確立

目標 下水道財政の健全化を図り、安定的なサービスを提供します。

30年後の姿 事業の成果や経営状態が理解され、市民の満足が得られている。

小施策①

安定した下水道経営の構築

5ヶ年の目標：経費回収率 100.0%以上の維持

進捗状況				
2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
108.2%	88.5%			

2018年度の主な取り組み

- 経費回収率について、算出に關係する総務省繰出基準の一部を見直したことにより、88.5%に低下しました。
- 計画的かつ適正な事業管理を行い、安定した経営管理を推進します。

小施策②

サービス向上への取り組み

5ヶ年の目標：下水道事業についての理解度 80.0%以上

進捗状況				
2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
理解度調査の方針決定	81.7%			

2018年度の主な取り組み

- 2回のイベントで下水道事業に関するPR活動を行いました。
- 理解度調査の内容を決定し、来庁者やイベント来場者等を対象として計3回の調査を実施しました。
- 今後も引き続きPR活動を実施し、下水道事業の理解度向上に努めます。